

教科等別年間指導計画

学年	2	教科 目標	実践的・体験的な活動を通して、生活の自立に必要な基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能についての理解を深め、課題を持って生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。		
教科	技術・家庭 (家庭)				
授業 方法 形態	・一斉学習 ・グループ学習		先生 から 一言	<ul style="list-style-type: none"> 生活を見直し、消費者として適切な行動が取れるようになる。 自分の衣生活に関心を持ち、計画的に製作を行い、衣生活をより豊かなものにしていこう。 学習したことを自分の生活に生かしていこう。 	
月	単元名	単元のねらい, 内容	評価規準・方法等	総合的な学習, ことばの教育, 環境教育, 情報教育等との関連	時数
4	わたしたちの 消費と環境	<ul style="list-style-type: none"> 物資やサービスの購入および活用するときの注意点について知る。 消費者を取り巻く問題を通して、消費者として適切な行動ができる。 生活の中での環境への影響を考え、改善策を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 物資やサービスの適切な選択・購入および活用ができる。 中学生にかかわりの深い販売方法を知り、消費者として適切な行動を取ることの大切さを理解できる。 消費生活と環境との関わりを考え、環境に配慮した生活の工夫を考えることができる。 (活動観察・自己評価・ワークシート・定期テスト)	説明の技術 将来設計能力 環境	7
5					
6					
7	わたしたちの 衣生活	<ul style="list-style-type: none"> 衣服のはたらきと目的に応じた衣服の着用を工夫する。 衣服の計画的な活用と適切な選択の方法を知る。 衣服材料に応じた日常着の適切な手入れや補修の方法が分かる。 衣服の再利用の計画を立て、再利用の方法を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の社会上のはたらきについて理解できる。 衣服の計画的な活用と適切な選択ができる。 衣服材料に応じた手入れや補修ができる。 衣服計画の必要性を理解し、再利用の方法が工夫できる (活動観察・ワークシート・自己評価・実技・定期テスト)	国際理解 説明の技術 情報活用能力 環境	1 1
8					
9					
10	わたしたちの 衣服製作	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の基本的な構成が理解できる。 製作の手順を考え、計画を立てる。 製作の手順に従って、能率的に作業を進める。 製作を振り返り、製作の記録をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の基本的な構成やゆとりとの関係が分かる。 製作の計画をたてることができる。 安全に注意しながら、計画通りに製作ができる。 自分の作品や実習の様子についてまとめることができる。 (活動観察・作品・自己評価・定期テスト)	情報活用能力 説明の技術 情報活用能力	1 1
11					
12					
1	わたしたちの 生活とすまい	<ul style="list-style-type: none"> 家族が住まう空間としての住居の機能について考える。 家族の生活と住み方とのかかわりについて考える。 家族が集まる場所を快適にする工夫を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 住まいに関心を持ち、住まいの役割について考えることができる。 家族の生活の仕方によって住み方に違いがあることが分かる。 家族が安全で快適に住む工夫を考えることができる。 (活動観察・ワークシート・自己評価・定期テスト)	説明の技術 情報活用能力 将来設計能力	7
2					
3					